

放射線によるがん死亡リスクに関するグラフの改訂について

放射線被ばくに関する基礎知識サマリー版第 1 号（Ver1.1。2011 年 4 月 8 日の欄に掲載）の項目 1 に掲載されている、放射線によるがん・白血病の増加に関するグラフの改訂版を 2011 年 9 月 27 日に放射線被ばくの Q&A（最終更新日時平成 29 年 1 月 11 日）に掲載しておりますが、これまでの改訂理由などについて問い合わせがありましたので、以下の通り、改訂した箇所とそれぞれの改訂理由を掲載させていただきます。

今後もさらに分かりやすい図表への改訂に努めてまいりたいと思いますので、皆様のご意見をお待ちしております。

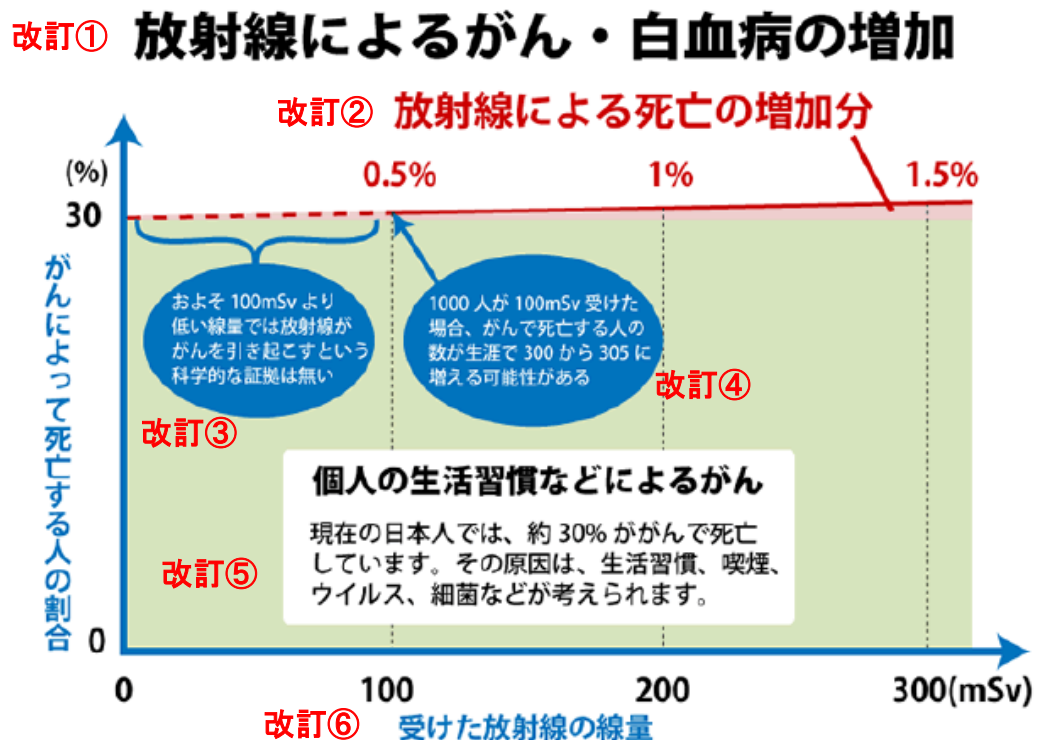
改訂①：ゆっくりとした被ばくの場合であることをはっきり示すため。

改訂②④：放射線による増加部分を分かりやすくするため。

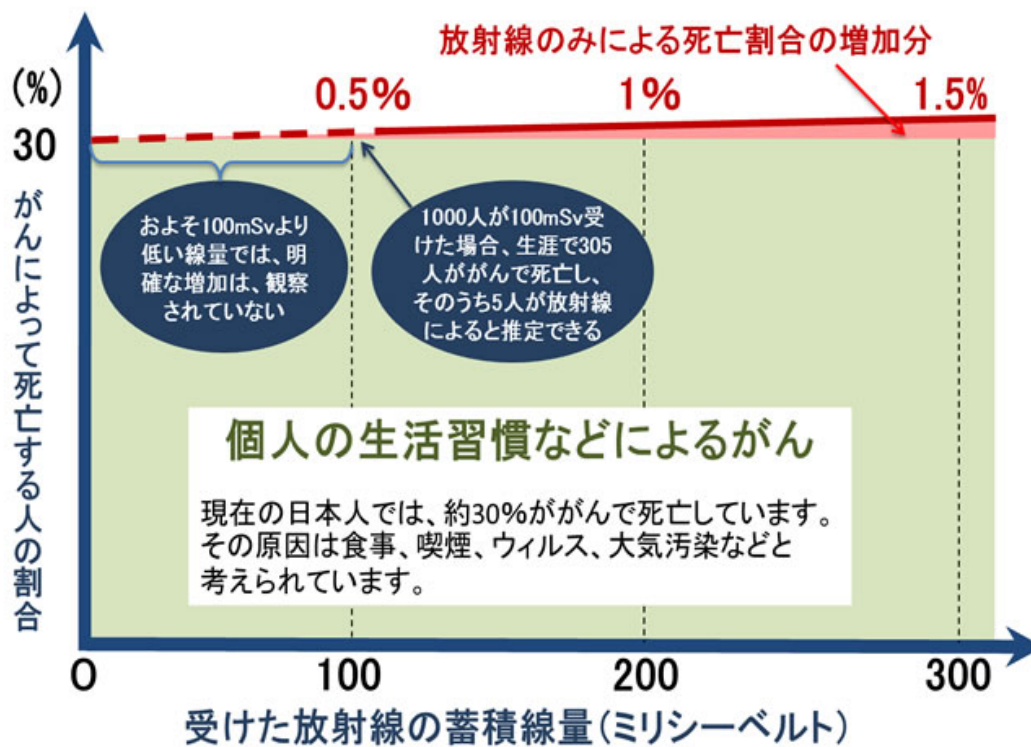
改訂③：100 ミリシーベルト（mSV）以下ではがんの増加の明確な証拠が無いことは国際放射線防護委員会（ICRP）などでも一致した見解だが、DNA 損傷が少量でも発生すればがんになり得る、がんは 100mSV 以下でも発生し得ると仮定するという、放射線防護の目的のための慎重な考え方に、より忠実な表現とするため。

改訂⑤：範囲が広く喫煙も含む用語である「生活習慣」を、イメージしやすい「食事」に変更。ウイルス同様に感染症である細菌から、別カテゴリーの大気汚染に変更。

改訂⑥：年間の被ばく線量という誤解を避けるため。



年間で100ミリシーベルトまでゆっくりと被ばくした場合のがん死亡



改訂後（平成 23 年 9 月 27 日公開 放射線被ばくに関する Q&A）